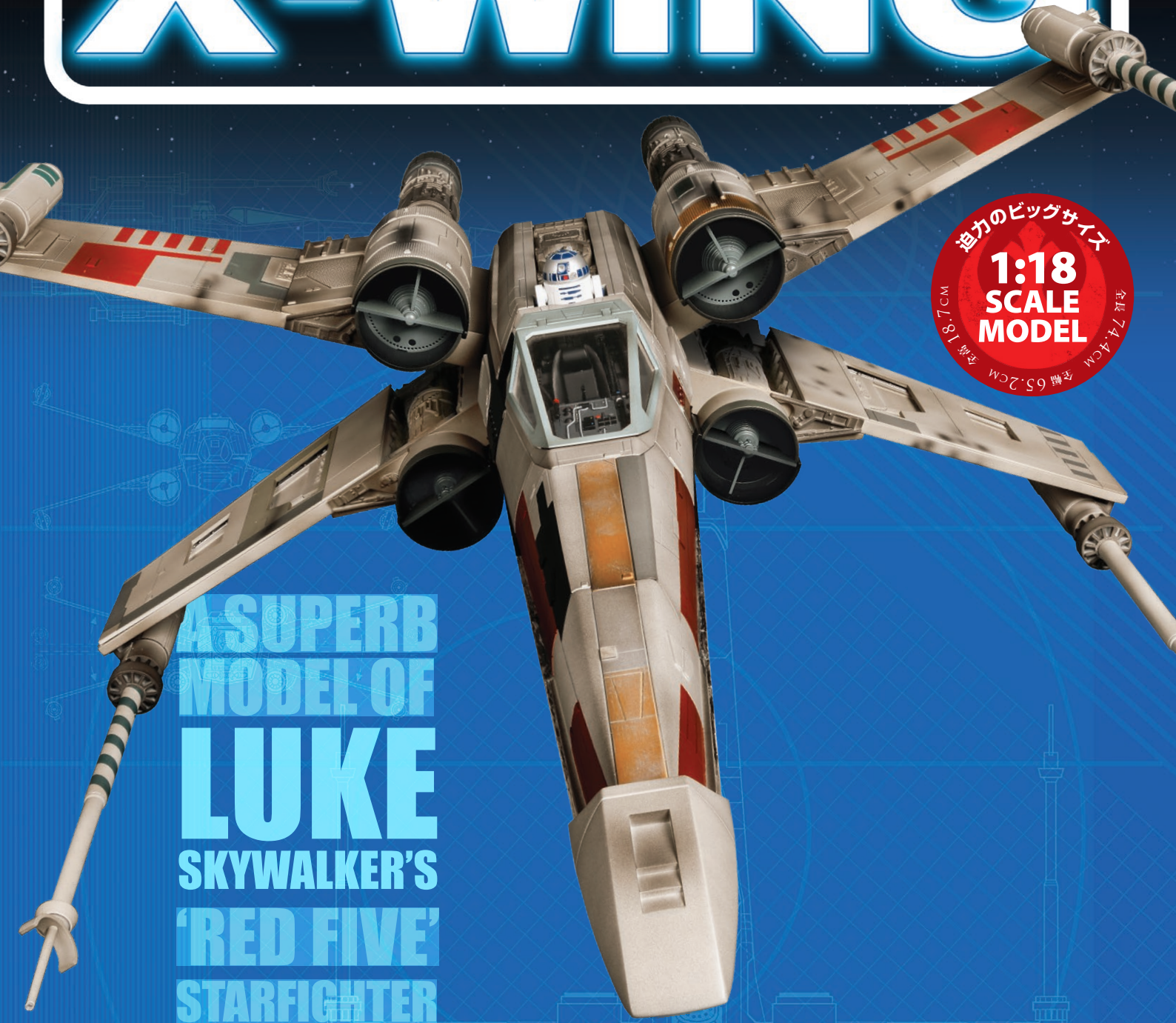


STAR WARS™

23

BUILD YOUR OWN

# X-WING



迫力のビッグサイズ  
1:18  
SCALE  
MODEL  
全長 74.4cm  
全幅 65.2cm  
全高 18.7cm

A SUPERB  
MODEL OF  
**LUKE**  
SKYWALKER'S  
'RED FIVE'  
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

## 第23回配本 組立内容

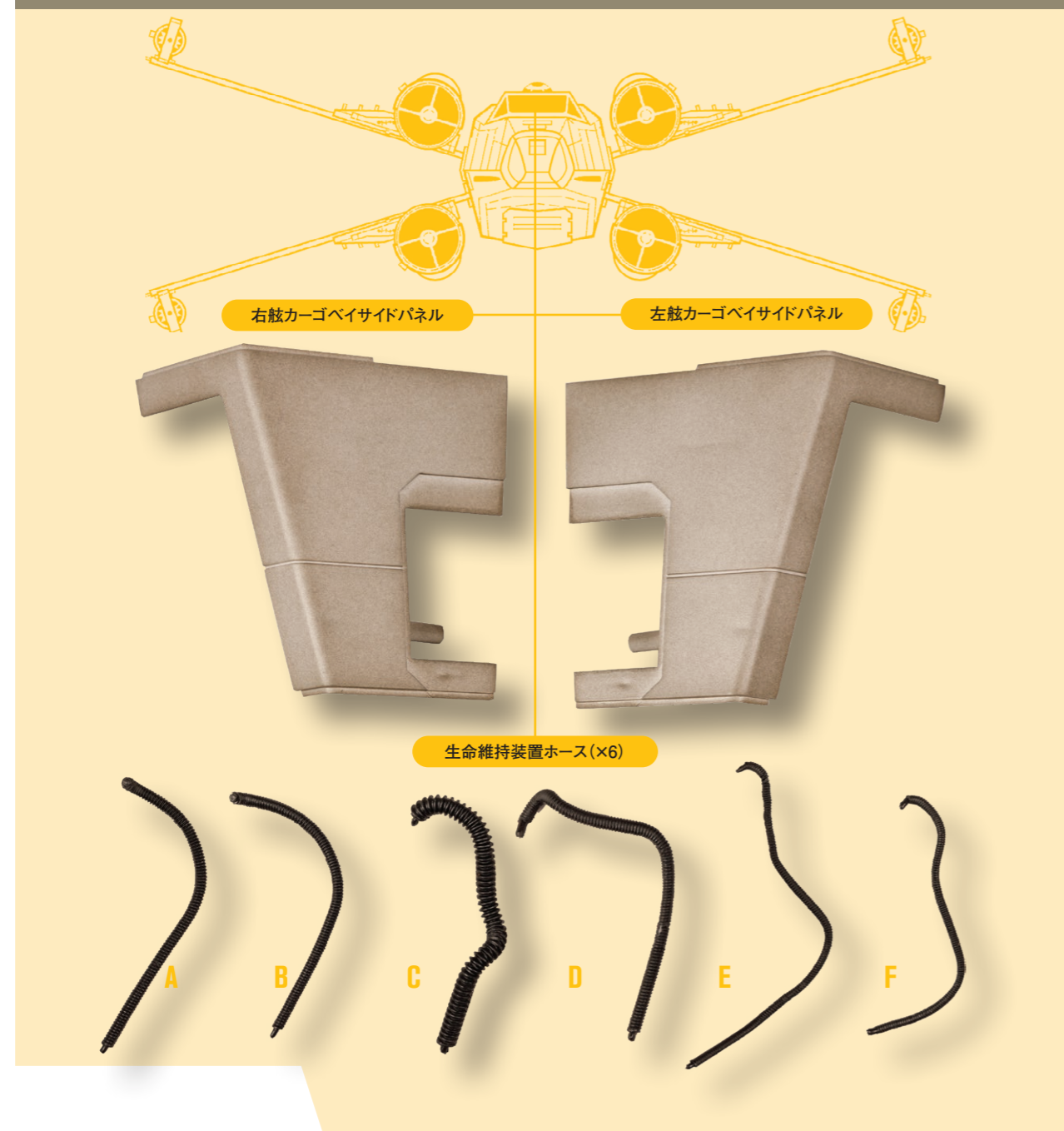
<b>STAGE 89</b>	カーゴベイとコックピット .....	558
<b>STAGE 90</b>	加速度補正機.....	564
<b>STAGE 91</b>	魚雷ベイ.....	570
<b>STAGE 92</b>	前部胴体パネル.....	578

# カーゴベイとコックピット

主な提供パーツは、カーゴベイの両側を囲む2枚の外板パーツである。また、操縦席の後ろにある生命維持装置の一部である6本のフレキシブルホースも用意されている。

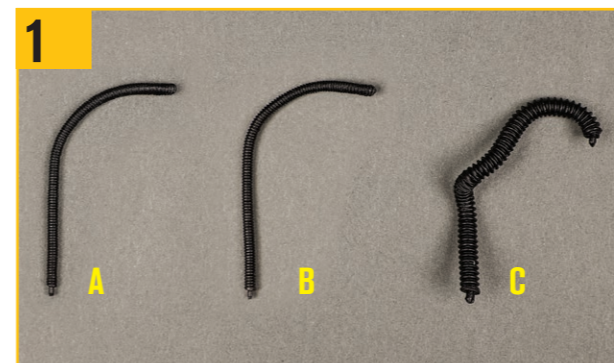
## ステージ89の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見よう。



# 生命維持装置の取り付け

6本のホースの端にあるピンは、上部が生命維持装置、下部が床または内部パネルに取り付けられる。ホースを正しく識別し、正しく取り付ける。



1 左舷側に取り付けるホースA、B、Cを用意する。



2 ホースAの上端を生命維持装置の左舷側にある2つの穴のうち、後ろの穴に取り付ける。



3 ホースBの上端を隣の穴に取り付ける。



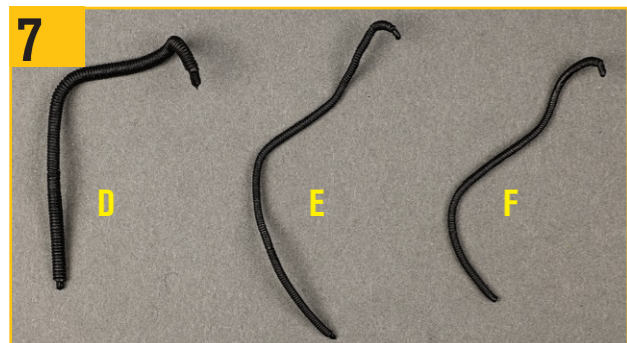
4 ホースCの上端を写真の穴に取り付ける。



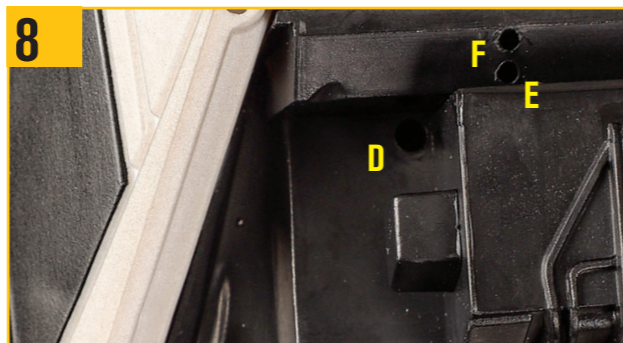
5 コックピットの床にある写真の3つの穴を確認する。



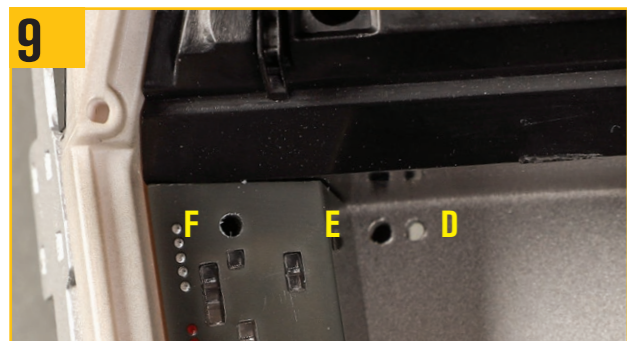
6 ホースA、B、Cの下端を手順5で示した3つの穴にはめ込む。楊枝で瞬間接着剤を一滴垂らすと(写真を参照)、しっかりと固定できる。



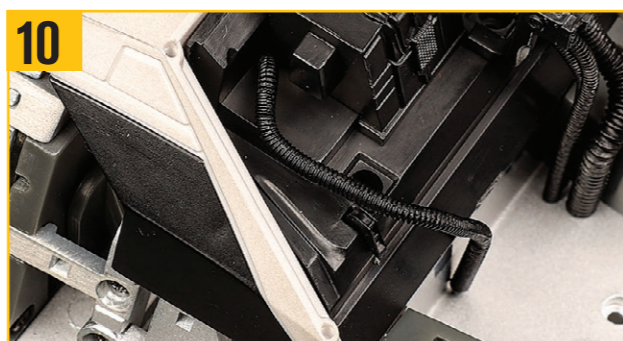
右舷側に取り付けるホースD、E、Fを用意する。



生命維持装置にある写真の3つの穴を確認する。



コックピットの床と内部パネルにある写真の3つの穴を確認する。



ホースDを写真のように取り付ける。



ホースEを写真のように取り付ける。



最後に、ホースFを写真のように取り付ける。

ホースの完成

# カーゴベイサイドパネルの取り付け

胴体の側面に外板パーツを取り付けて、カーゴベイエリアを完成させる。どちらのパネルも単純な押し込み式である。



両方のカーゴベイサイドパネルを用意し、組み立てしやすいように胴体を端に立てる。



右舷カーゴベイサイドパネルを用意し、位置決めピンを一致する穴に合わせる。

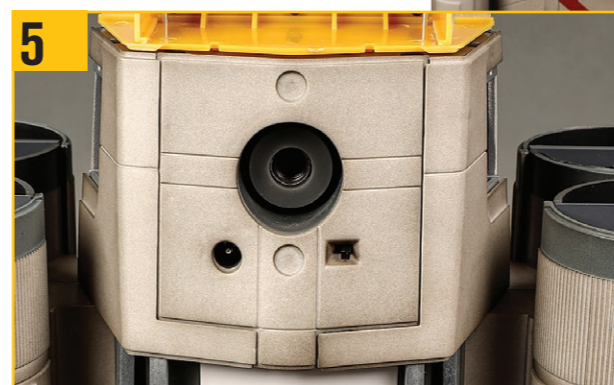


カーゴベイドアとぴったり合うように、カーゴベイサイドパネルをスライドさせる。



左舷カーゴベイサイドパネルを合わせ、カーゴベイドアとぴったり合うように押し込む。

これでこのエリアの組み立ては完了だ。



パーツは写真のようになる。

## 生命維持装置

X-wingの操縦席の後ろに取り付けられた生命維持装置の役割は、あらゆる条件下で安定した生活環境を維持することだ。主な機能は、快適な温度の呼吸に適した空気を提供することだ。



# 加速度補正機

小さな提供パーツは、生命維持装置の下に収まるドラム型の加速度補正機を構成する。  
また、ここで船体の下側を囲む大きな外板パーツも用意されている。

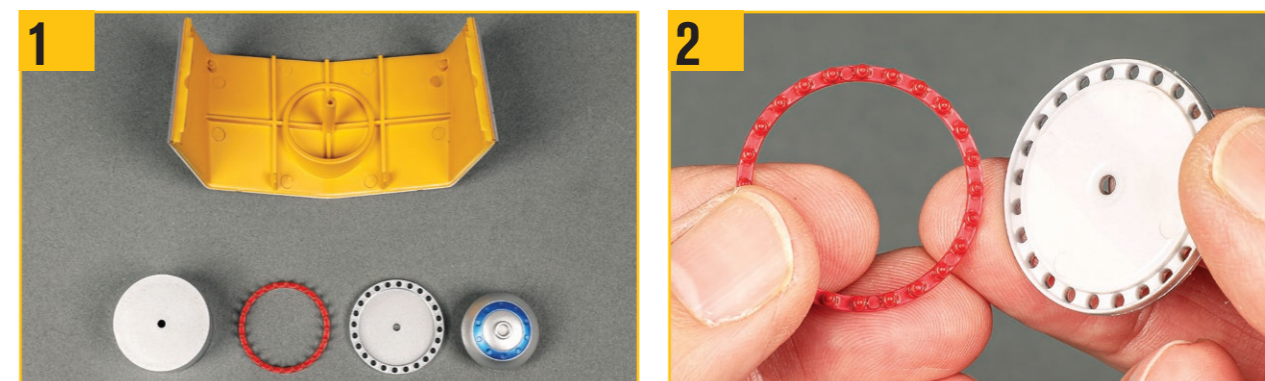
## ステージ90の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのを見よう。

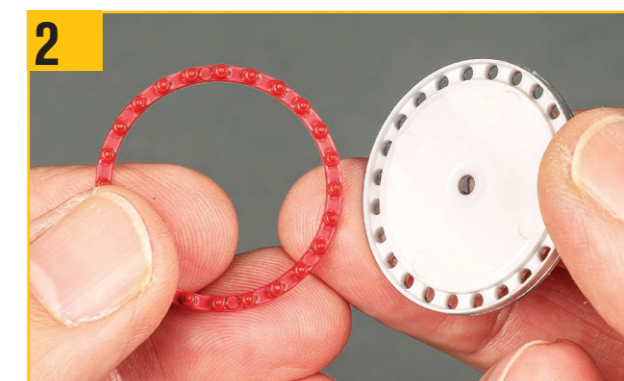


# 加速度補正機の組み立て

加速度補正機は、単純な押し込み式の4つのパーツで構成されている。組み立てたパーツは船体パネルに取り付けられ、魚雷ベイの後ろに固定される。



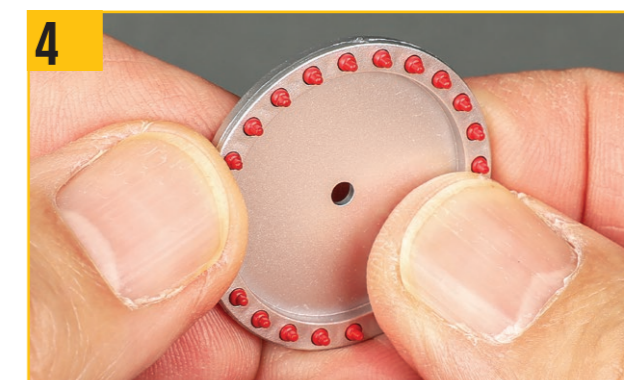
すべての提供パーツを用意する。



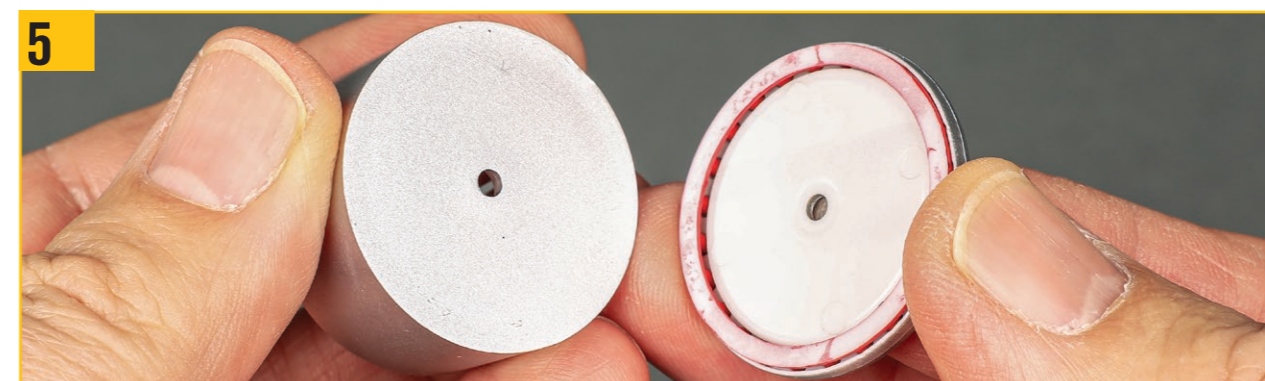
加速度補正機トップと加速度補正機トップナットのリングを用意する。



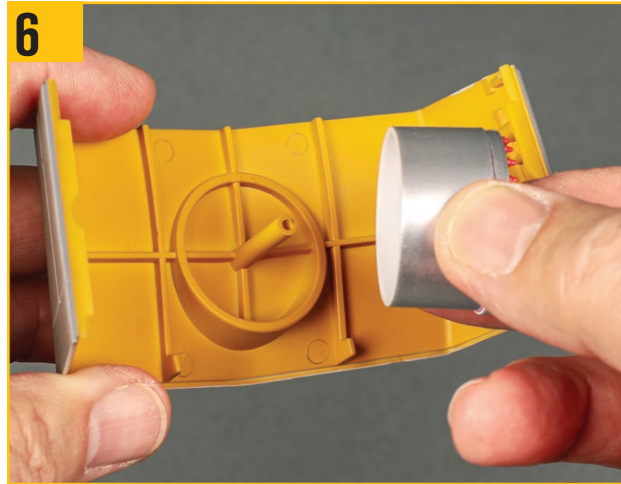
加速度補正機トップの穴に加速度補正機トップナットを合わせる。



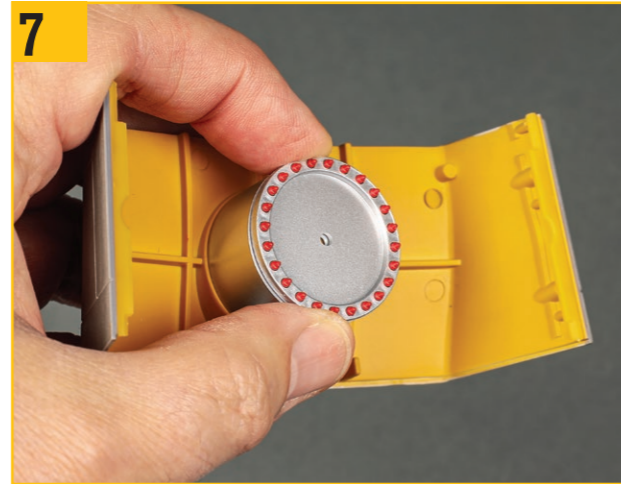
2つのパーツをしっかり押し込む。



手順4のパーツを加速度補正機ドラムに合わせる。



6 アウター船体パネルの中央にある支柱に2つのパーツをはめ込む。



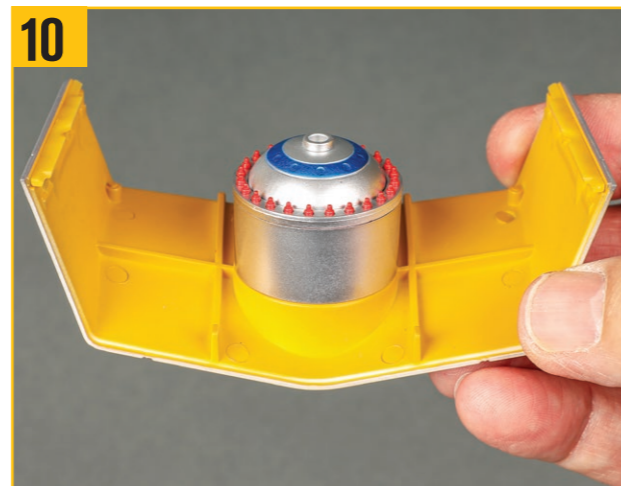
7 パーツがぴったり合うまで、パーツを押し込む。



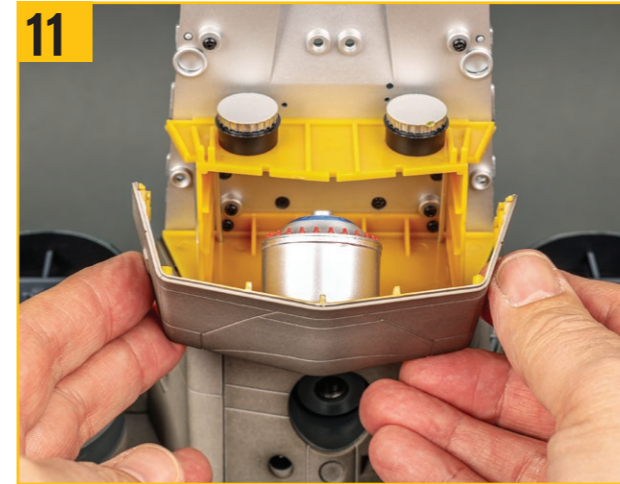
8 次に、加速度補正機ドラムから突き出ているピンを中央の穴に合わせる。



9 パーツをしっかり押し込む。



10 パーツは写真のようになる。



11 船体パーツを用意し、写真のようにパネルを合わせて、3つの中央のリップを隔壁のスロットに合わせる。

胴体パーツは写真のようになる。

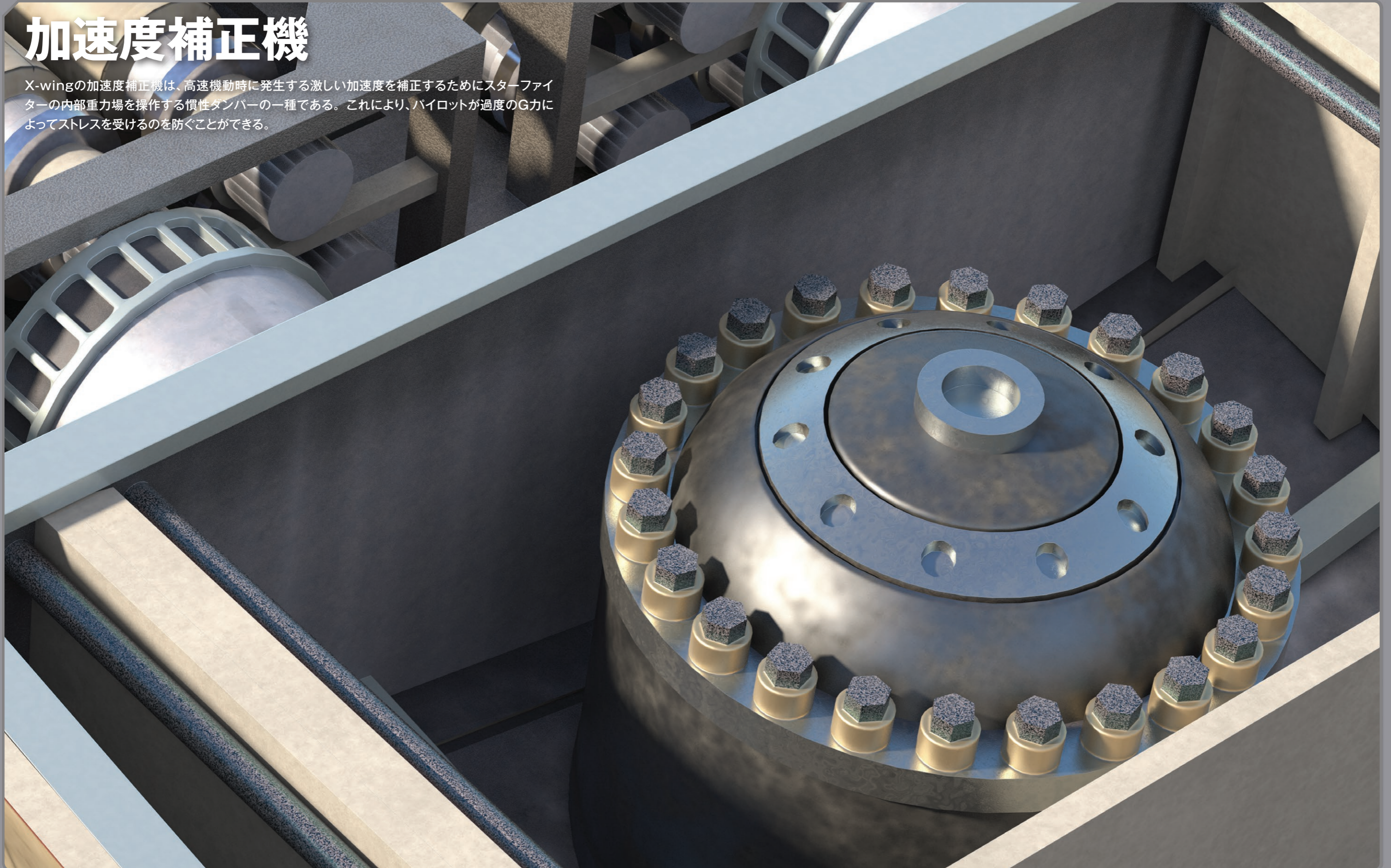


12 パネルをしっかり押し込み、ぴったりと取り付ける。



# 加速度補正機

X-wingの加速度補正機は、高速機動時に発生する激しい加速度を補正するためにスターファイターの内部重力場を操作する慣性ダンパーの一種である。これにより、パイロットが過度のG力によってストレスを受けるのを防ぐことができる。



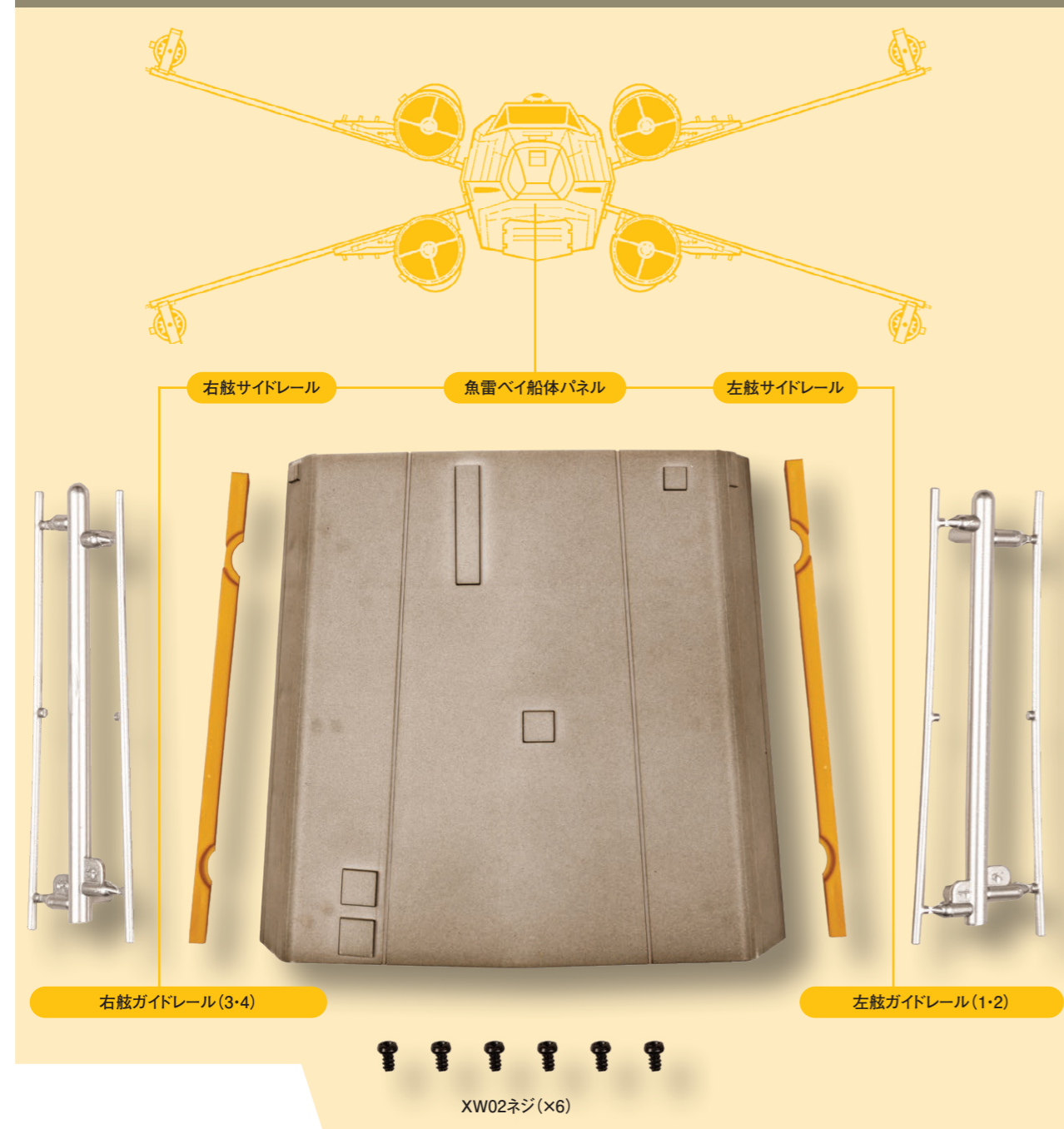


# 魚雷ベイ

提供パーツは、魚雷ラックを固定する船体パネルとサイドレール、パイロットが魚雷を発射した際に魚雷を誘導するガイドレールで構成されている。

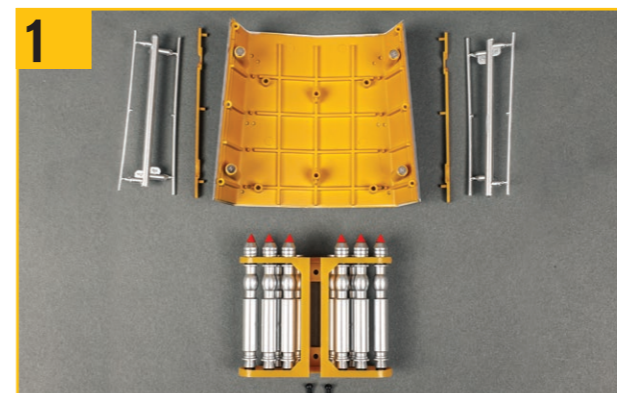
## ステージ91の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

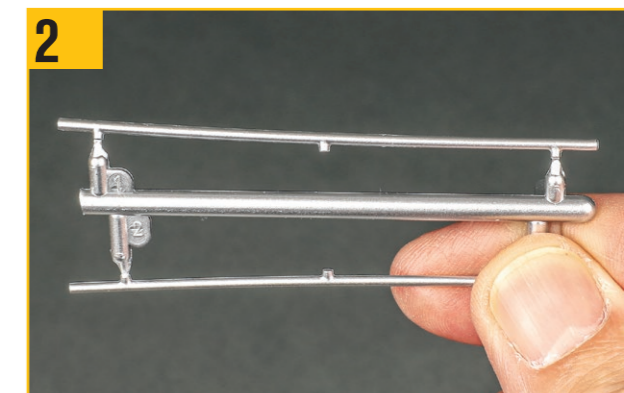


# 魚雷ベイの組み立て

魚雷ラックは、四隅に磁石のついた魚雷ベイ船体パネルに収まる。これにより、魚雷ベイ全体を船体の下側から積み直すことができる。



すべての成形パーツと、ステージ76で組み立てた魚雷ラック、2本のXW02ネジを用意する。



1と2の番号がついている左舷ガイドレールを用意する。



左舷ガイドレール1を2つの位置決めピンを残してランナーから慎重に切り離す。



位置決めピンを、魚雷ベイ船体パネルの左舷側にある2つの穴に差し込む。楊枝で瞬間接着剤を滴下すると(写真を参照)、レールがしっかりと固定される。



レールをしっかり押し込む。



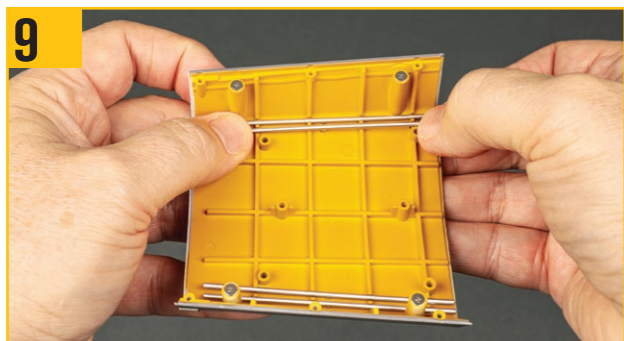
左舷ガイドレール1と同様に、左舷ガイドレール2をランナーから切り離す。



7 同様に少量の瞬間接着剤を使用して、左舷ガイドレール2を左舷ガイドレール1と平行に取り付ける。



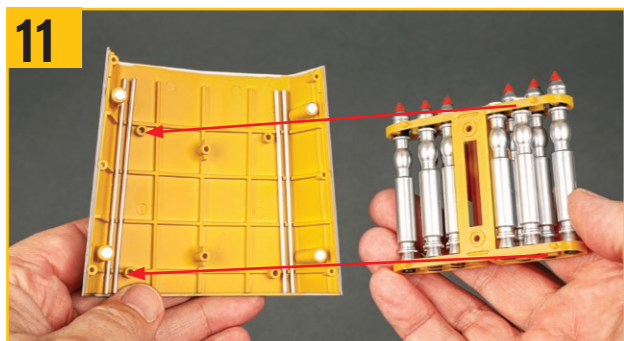
8 レールをしっかりと押し込む。



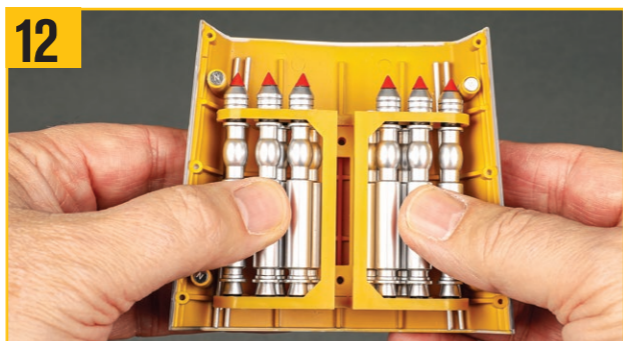
9 手順3~7と同様に、右舷側のガイドレール3と4を取り付ける。その際右舷ガイドレール3を外側に取り付ける。



10 魚雷ベイ船体パネル、魚雷ラック、2本のXW02ネジを用意する。



11 魚雷ラックの4つの位置決めピンと魚雷ベイ船体パネルの穴を合わせ押し込む。



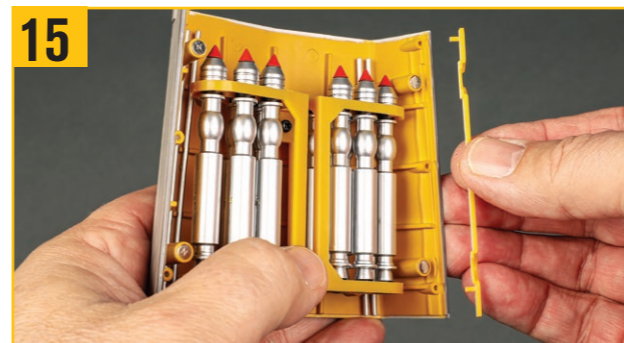
12 魚雷ラックの中央の2つの穴は、魚雷ベイ船体パネルの中央の穴と一致する。



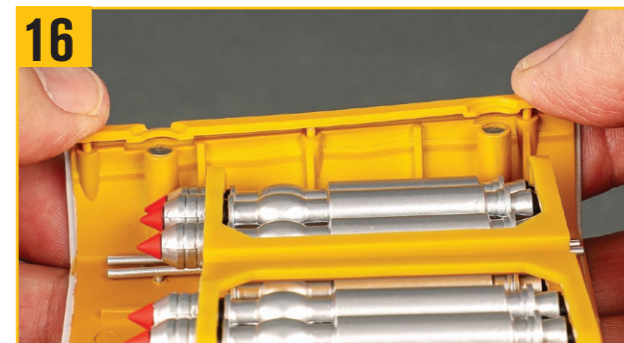
13 XW02ネジを2つの穴に差し込んで、魚雷ラックを固定する。



14 右舷サイドレールと左舷サイドレールを用意する。



15 右舷サイドレールの3つの位置決めピンを魚雷ベイ船体パネルの穴に合わせる。



16 パーツをしっかりと押し込む。



17 左舷サイドレールの3つの位置決めピンを魚雷ベイ船体パネルの穴に合わせる。



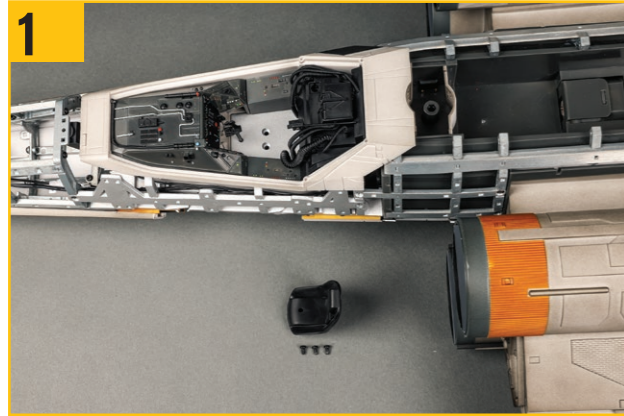
18 パーツをしっかりと押し込む。

これで魚雷ベイの組み立ては完了だ。

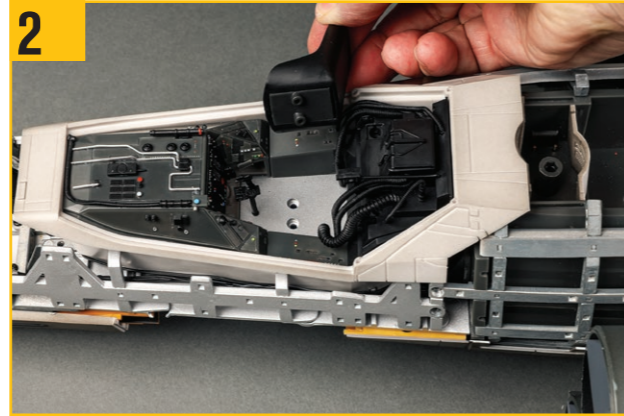


# パイロットシートの取り付け

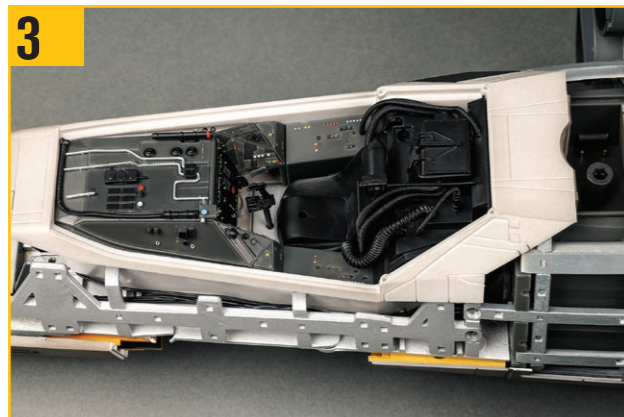
パイロットシートを金属ベースに取り付けて、コックピットを完成させる。



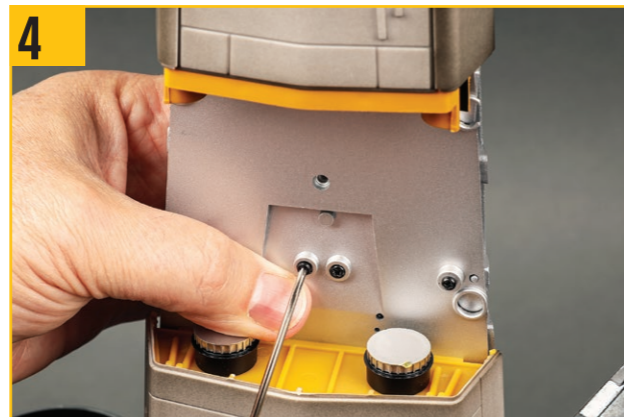
1 ステージ64で提供したパイロットシートと3本のXW02ネジを用意する。



2 パイロットシートの下突起をコックピットのベースの穴に合わせる。



3 パイロットシートを押し込む。



4 パイロットシートを固定したまま、胴体を裏返し、2本のXW02ネジでシートの背面を固定する。



5 さらにXW02ネジを追加して、シートの前面を固定する。

これで組み立ては完了だ。

# パイロットシート

X-wingには、小さな専門企業であるグイデンハウザー社製のイジェクターシート（射出座席）が取り付けられていた。緊急時には、このシートでパイロットはスターファイターから脱出するが、パイロットの安全は宇宙の危険と戦場の危険からパイロットを保護するパイロットスーツの完全性に依存していた。デレク「ホビー」・クリヴィアンが脱出したとき、彼は不運にも、追跡中のTIEファイターに衝突され片足を失った。

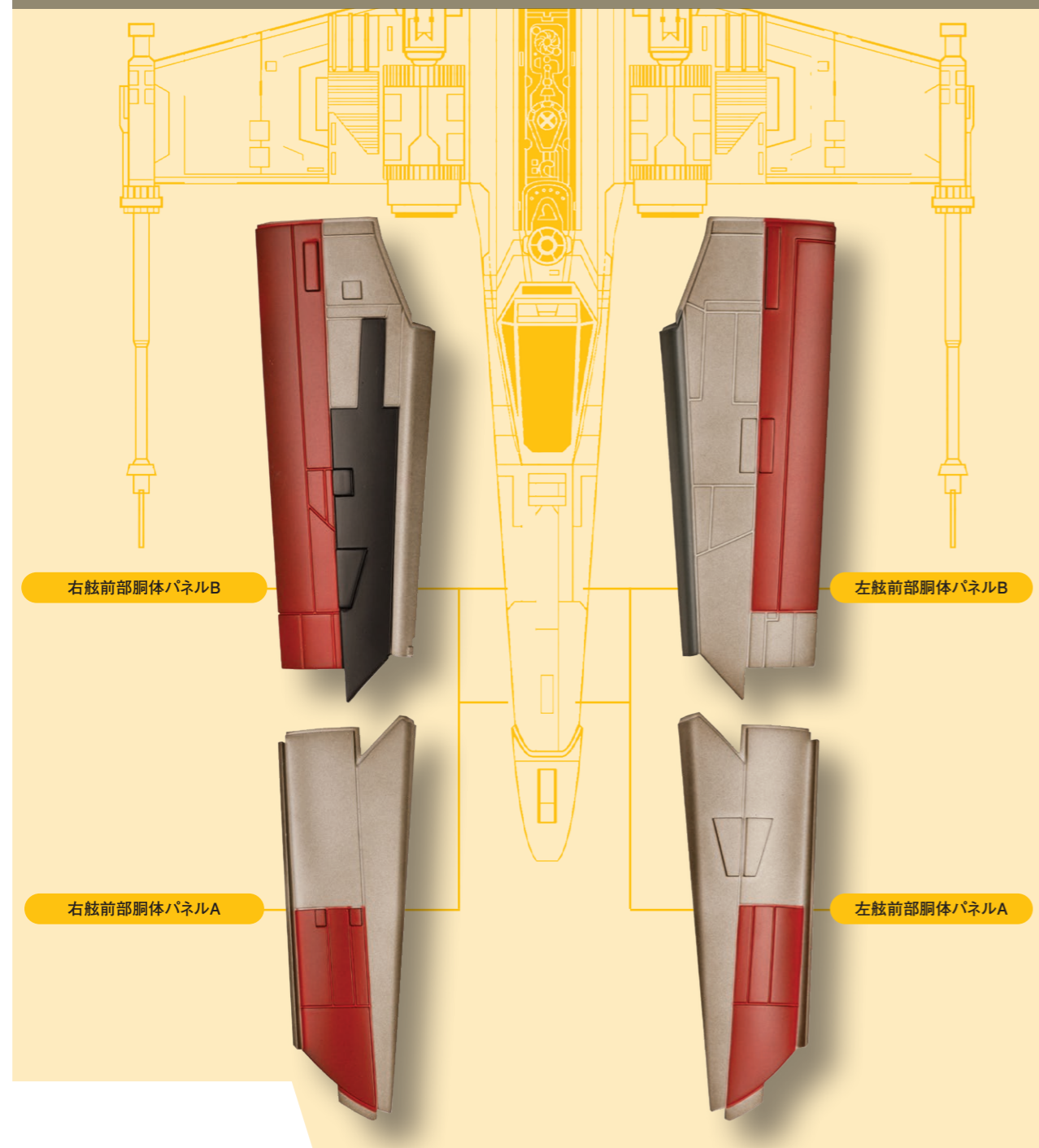


# 前部胴体パネル

提供パーツは、機首とコックピット間の前部胴体パネルである。

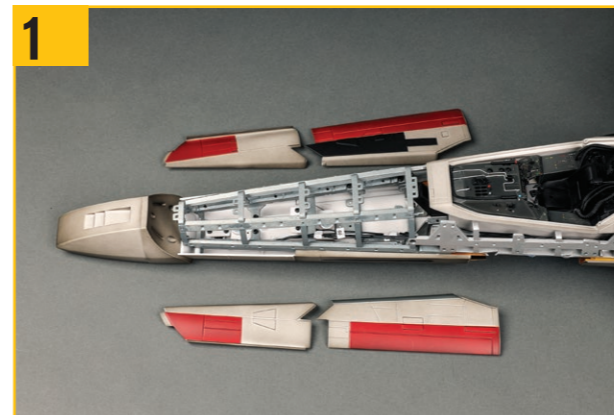
## ステージ92の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

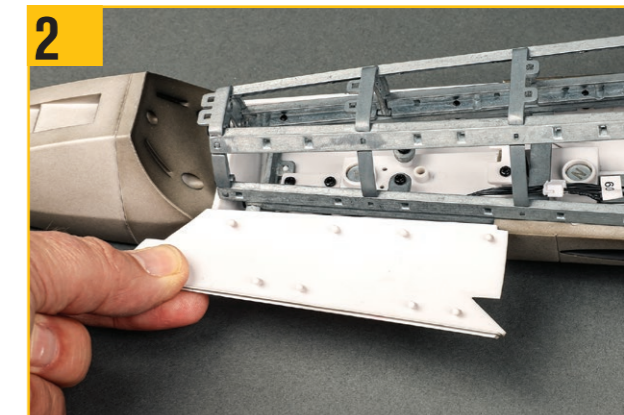


# パネルの組み立て

パーツは単純な押し込み式だが、すべての位置決めピンをフレームワークの穴に合わせる必要がある。塗装済みなので、作業面でモデルをこすって余計な「戦闘ダメージ」を追加しないように注意しよう。



1 提供されたすべてのパーツを用意する。



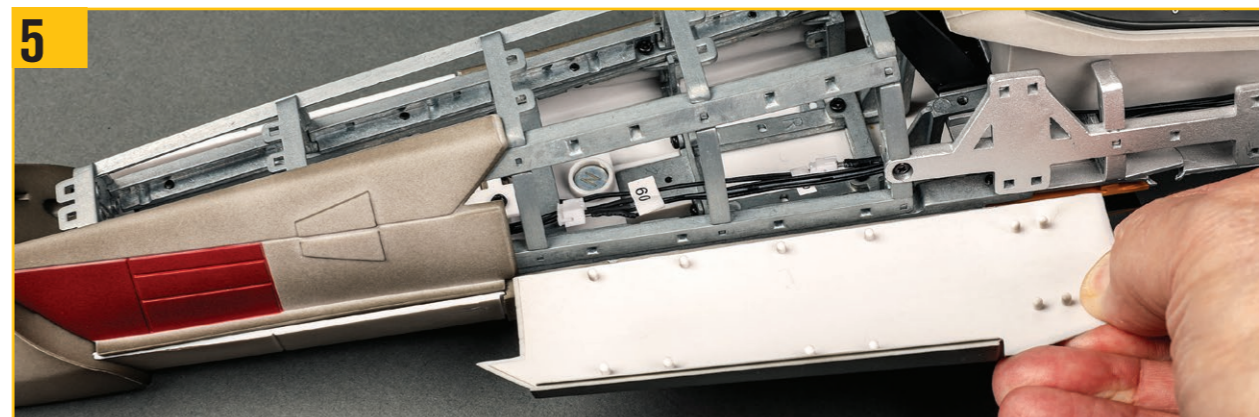
2 左舷前部胴体パネルAを写真の位置に合わせる。



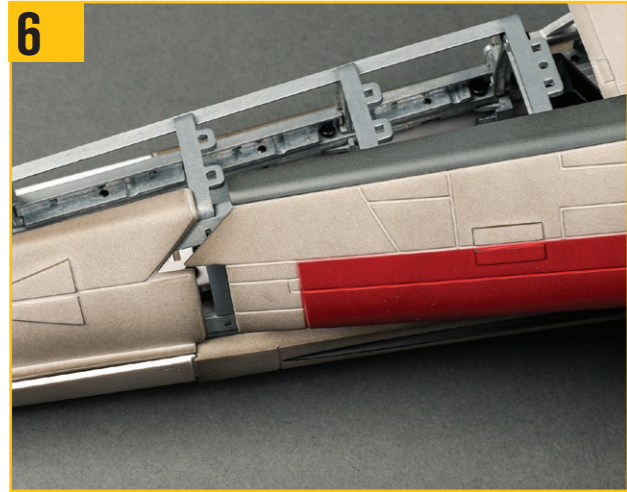
3 前方タブをノーズコーンに差し込む。



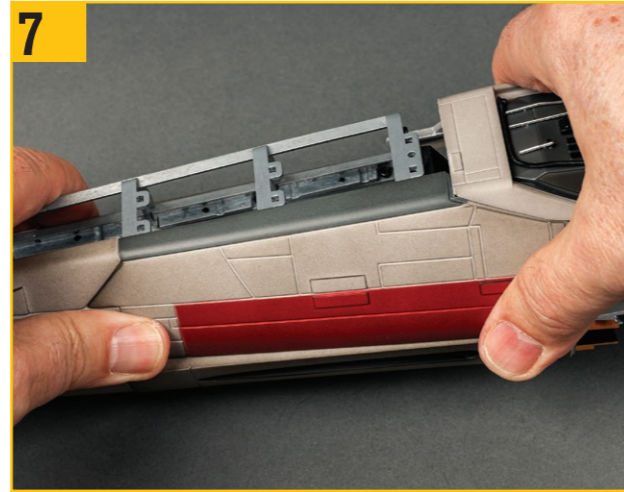
4 ピンをフレームの穴に合わせ、パーツを押し込む。



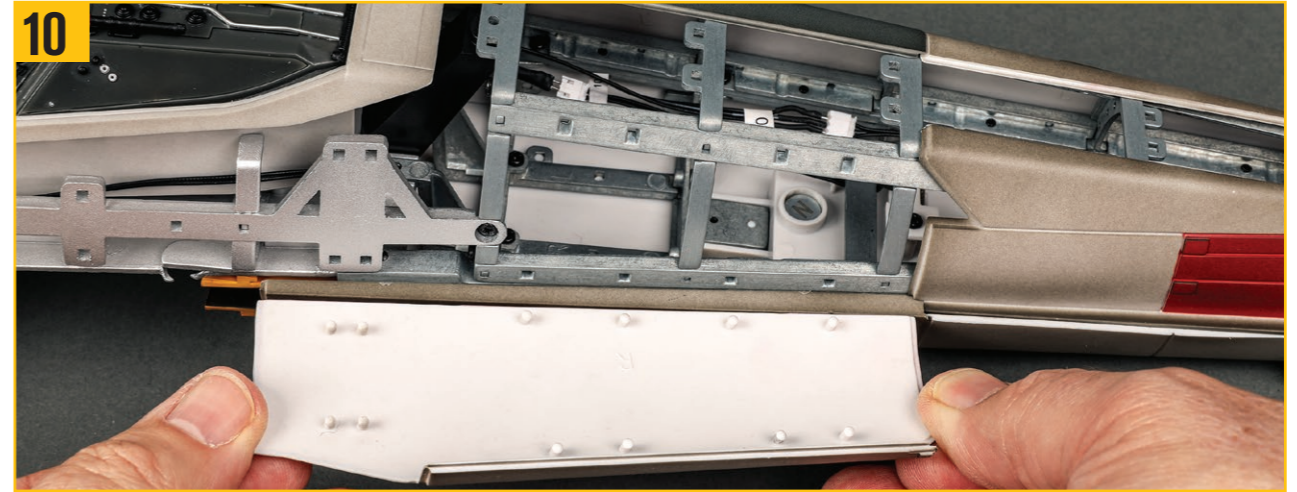
5 左舷前部胴体パネルBを写真の位置に合わせる。



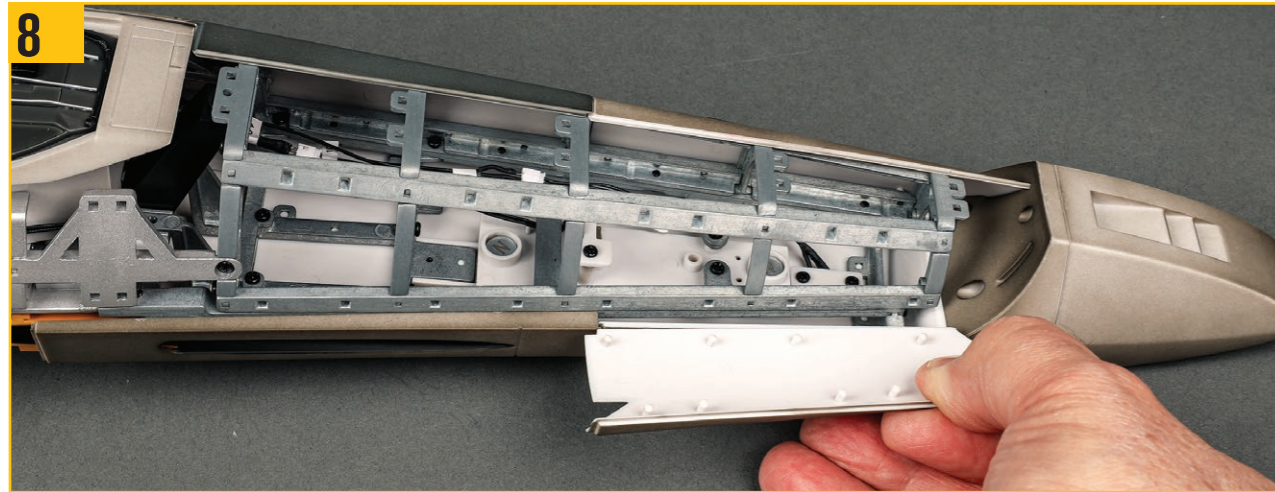
とがった方の先端を左舷前部胴体パネルAに合わせる。



ピンをフレームの穴に合わせ、パーツを押し込む。



右舷前部胴体パネルBを写真の位置に合わせる。



右舷前部胴体パネルAを写真の位置に合わせる。



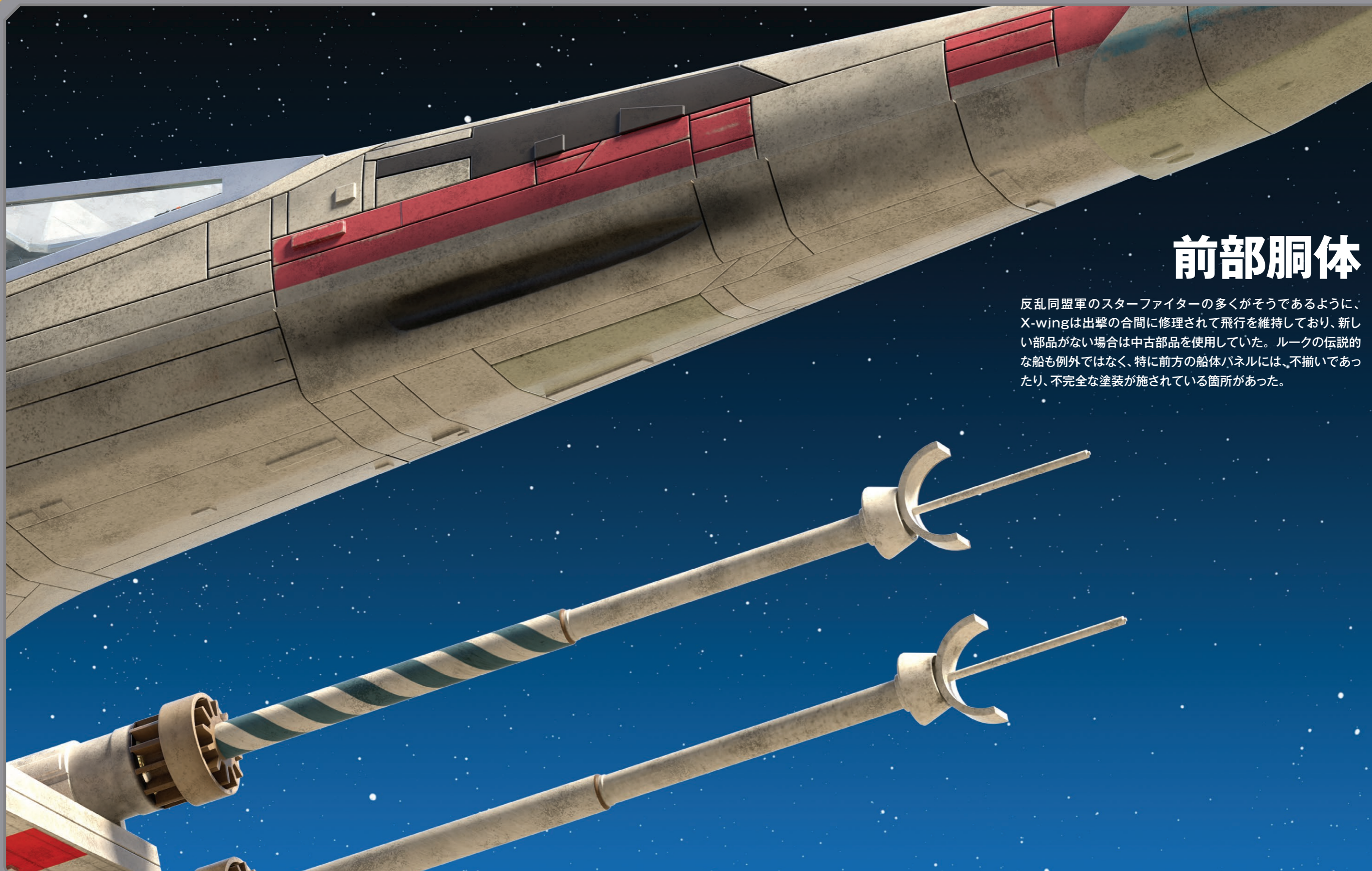
手順6~7と同様に右舷前部胴体パネルBを取り付ける。



手順3~4と同様に、右舷前部胴体パネルAを取り付ける。



これでこのステージの  
組み立ては完了だ。  
胴体パーツは写真のようになる。



## 前部胴体

反乱同盟軍のスターファイターの多くがそうであるように、X-wingは出撃の合間に修理されて飛行を維持しており、新しい部品がない場合は中古部品を使用していた。ルークの伝説的な船も例外ではなく、特に前方の船体パネルには、不揃いであったり、不完全な塗装が施されている箇所があった。